

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月7日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902553		
法人名	有限会社 あらた		
事業所名	グループホーム あすか		
所在地	北海道旭川市豊岡8条1丁目3番 (電話) 0166-33-2661		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年2月25日	評価確定日	平成21年3月12日

【情報提供票より】(平成21年2月9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月9日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	21人	常勤	16人, 非常勤 5人, 常勤換算 13.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600円	その他の経費(月額)	19,200~32,200円	
敷金	有() 無()			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 無()	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	500円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300円			

(4) 利用者の概要(2月9日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	5名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 88歳	最低	67歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 沼崎病院・医療法人 北彩都病院 東光整形外科病院・林歯科病院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「入居者主体」を理念とし、地域に密着した運営がされている。生活リハビリにて運動機能の低下防止にも取り組んでいる。運営者は同町内の住人でもあり、また町内役員もされるなど地域や利用者・家族からの信頼も厚い。ホーム内においても安全と衛生が保たれ、また壁面には入居者の能力を導き出した油絵や習字などが、職員の洗練された工夫によりギャラリー風に飾られホーム全体に落ち着きを感じられる。家族アンケートには「家族と時間を取って会話してくれる」「家族にしっかりと挨拶をしてくれる」など感謝の言葉が数多くあり、総務課長はじめ管理者・職員全員が「入居者主体」のケアサービスの実践に取り組み、個々に合わせたサービスが提供されているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回で3回目の評価であるが、前はもとより過去の評価で得た課題点は総務課長・管理者・職員が自己評価項目ひとつ一つのねらいをしっかりと理解し、ミーティングを重ね前向きに改善へ向け取り組んだことが認められた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>総務課長・管理者は評価のねらいや活用について理解を深め、自己評価及び外部評価をサービスの質の向上に活かしている。自己評価は職員ミーティングで項目ごとに話し合い、課題に対する検討や方策について意見を出し合い、解決に向けた姿勢がうかがえた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月ごとに開催されている。運営推進会議のメンバーは地域住民が多く、入居者の近況や運営状況等を報告するなどして情報の共有がされている。抽出された課題については委員間で積極的に話し合われている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族との対話を大切にする仕組みを運営体制に取り入れ、家族との挨拶を始め接遇にも配慮し、よりよいコミュニケーションのなか意見や要望を表わせる雰囲気を作り上げている。表出された意見等は迅速に対応しており、月毎の家族への手紙や3ヶ月毎の事業所便りは家族に安心感を与えている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営者は同じ町内に住み、開設前から役員を担っており、入居者が地域で安心して暮らせるよう基盤整備に尽力している。町内会を含め地域とは行事や活動に入居者も一緒に参加し、相互交流が行われている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人内で展開しているグループホームは統一した理念を掲げ「安心と尊厳のある生活、入居者が主体的な決定を行える、安らぎと自信を感じられる支援」について盛り込み、住み慣れた地域で暮らしを支えるための事業所理念を標榜している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づくケア方針をテーマごとにミーティングを重ね、『入居者一人ひとりの生活を継続する支援』とすることを共通に認識し、職員間で共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営者は同じ町内に住み、役員を担い利用者が地域で安心して暮らせるよう基盤整備に尽力している。町内会を含め地域とは行事や活動に入居者も参加する相互交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	総務課長及び管理者は、評価の意義や活用について理解を深め、事業所の質の向上に活かす取り組みの重要性を認識している。課題については理念との整合性をもとに職員ミーティングなどで取り組まれ改善に至っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2か月に1回、タイミングなどを計り開催し、入居者の近況や運営状況を報告して情報を共有している。抽出された課題については委員間で積極的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>総務課長・管理者は市との連携の重要性を理解しており、行き来する機会をより多くつくことで、積極的な協力が得られるなど市と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時には本人の日々の生活や健康状態を伝え、受診や緊急時にはその都度電話連絡を行っている。また、月毎の家族への手紙や3ヶ月に一度、レイアウトや内容などにも工夫された事業所便りを発行し、暮らしぶりを写真に収めて発信している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月の家族への手紙や来訪時には入居者の日常の様子やホーム内での行事、又はレクリエーションなどの実施状況をお知らせしている。また意見箱の設置や相談しやすい雰囲気等を常に心がけている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>総務課長・管理者は労働環境を整え離職を抑え、馴染みの職員を継続的に支える体制に努めている。退職交代時は1ヵ月間、引継ぎ期間を設けるなど入居者へのダメージを極力防ぐ配慮をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	総務課長・管理者は職員育成を重んじており、研修内容を休憩室に掲示、朝礼でもアピールし、受講料などの援助もしている。また外部研修では講師を招き口腔衛生の勉強会を実施するなど職員の育成に積極的な取り組みを行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	総務課長・管理者は他事業所との交流や連携を理解し、積極的な取り組みを行っている。市内の事業所と協働し職員の相互訪問を実施するなど、他を知ることにより、ケアサービスの質の向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談から利用に至るまで、本人・家族のそれぞれの状況に応じ個別の対応に心がけている。ホームの見学の他、自宅に赴き面談するなどし、職員と顔馴染みになるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者の思いを共感し理解することに努めながら日々の生活を支援している。また家族・入居者から生活歴を把握し、油絵や植物の育て方、更には漬物作りなどの生活の技や昔のしきたりを教えてもらうなど、支え合う関係を構築している様子がうかがえる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常生活での様子や家族との会話の中から、思いや入居者の意向を把握している。またセンター方式で「私の気持ち」を的確にまとめ、職員間で共有し入居者主体の対応に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を基に作成されており、入居者・家族の思いや希望をかなえられるよう、医師などの助言や情報提供、更には職員からの積極的な意見を取り入れ、具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1～2ヶ月に一度のモニタリングや個別記録をもとに、介護計画の見直しを行っている。また入居者に状態変化があった場合はミーティングを行い、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者の身体状態に合わせ、体操や散歩などをはじめ生活リハビリを行い、心体機能の低下を防いでいる。また買い物や通院など入居者・家族の要望に応じて柔軟な対応が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者・家族の意向を大切に、かかりつけ医の受診を支援している。主治医との連携ができており、相談・指導に応じて下さるなど職員始め入居者・家族の安心となっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重要事項説明書にて「重度化した場合における対応にかかわる指針」を入居時に説明している。本人・家族の要望に応えるべく対応に向けた方針を職員間で共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	基本理念にて「プライバシーを守ることの大切さ」を言葉使いなどに留意し誇りや尊厳を損ねる対応がないよう、日々のケアとリンクした取り組みがなされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	何よりも入居者本人の意向を大事にしている。無理強いすることなく、その日の体調などを考慮し、本人の望む過ごし方に合わせていくことを大切にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は食事一連の流れを入居者と共に行い、心身の向上や力量の発揮場面として支援に努めている。職員と一緒に食事も和やかで、良い雰囲気をかもし出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週2回、日中に入浴時間を設けているが、希望があれば他の日にも応じている。入浴中はくつろげる雰囲気にも配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の力量や希望を踏まえ何が本人の役割や楽しみごとなのかを職員間で話し合いながら場面作りを行い支援している。日常の家事仕事・油絵やカラオケなどその人に合った役割や楽しみごとの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーへの買い物、散歩、果樹園、飛行場、外食など気分転換や心身のリフレッシュができるよう外出の支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアに取り組んでおり、入居者が外出しそうな様子があれば、職員がさりげなく声をかけるなどして安全面に配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に2回消防署や地域住民の協力を得て、避難訓練を行っている。またホームにて救急救命講習やAEDを用いた応急手当などを身につける訓練も行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分量においては確認の記録し、職員間で共有している。献立作りや栄養バランスなどは、協力病院の栄養士の助言・指導を受けながら行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やホール壁面には入居者の油絵や習字、また行事の写真などがギャラリー風に飾られている。観葉植物なども適所に置かれ、入居者と職員が微笑ましく過ごされており、「入居者主体」である取り組みがうかがえる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者本位で居心地良く暮らせる部屋作りに努め、家具や調度品は使い慣れた物を家族とも相談しながら配置し、入居前とあまり変わらないよう配慮している。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。